

Vol.78

石狩開発 株式会社

ISHIKARI DEVELOPMENT CO. LTD

編集発行/営業推進部

北海道石狩市新港西 1-721-11

TEL 0133(72)2300 FAX 0133(72)4055

http://www.ishikari-dev.co.jp

石・狩・湾・新・港・地・域 SAPPOR T NEWS

●産業拠点● SYNERGY = SAPPOR O × POR T × INDUSTR Y

トウワンの新たな物流センター 『TLP札幌』が操業を開始

(株)トウワン(本社:埼玉県さいたま市)代表取締役 古登志雄は石狩湾新港地域内、銭函5丁目の所有地に新たな物流センター『TLP札幌』を建設し、令和3年11月より操業を開始しました。TLP札幌は約1万9000坪の広大な所有地内に新たに増設された約2100坪



▲ TLP札幌 (写真中央)

センターでは多種多様なお客様の商品に対応するため、安全性に配慮された作業スペースを広く確保することでバック走行を必要としない最大トラック4台の同時作業を可能としたピットイン方式を採用するとともに、全天候型対応の完全屋内入出荷バスにより、天候に左右されず荷役が行えることで、作業効率・作業環境の向上が図られています。

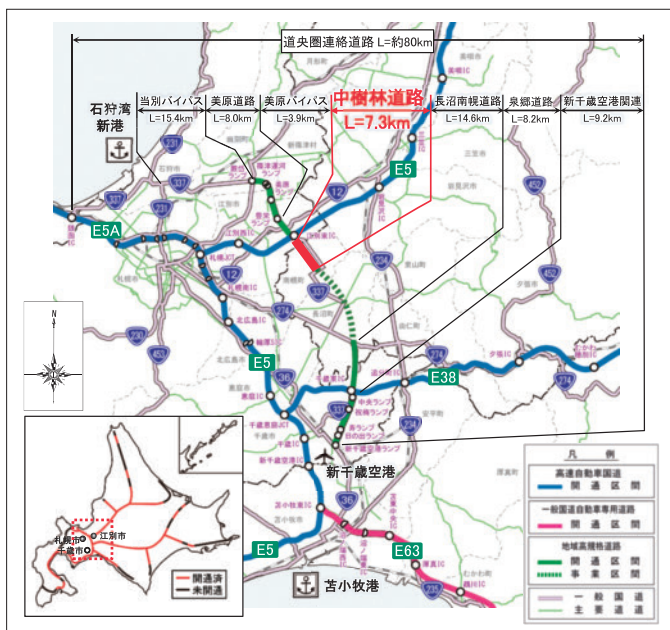
また、将来想定される北海道の気候変動(猛暑・厳寒・台風等)に対応するため、屋根・土間・外壁を従来よりも断熱効果を高める構造とし、併せて集中温湿度管理システムや強制換気システムを導入することにより、保管する商品の品質保持、監視強化を図っています。

更に、同センターではBCP対応として、施設内の電源設備を2系統に分け、系統別に非常用発電機を設置することで、災害時の事業継続を可能としております。

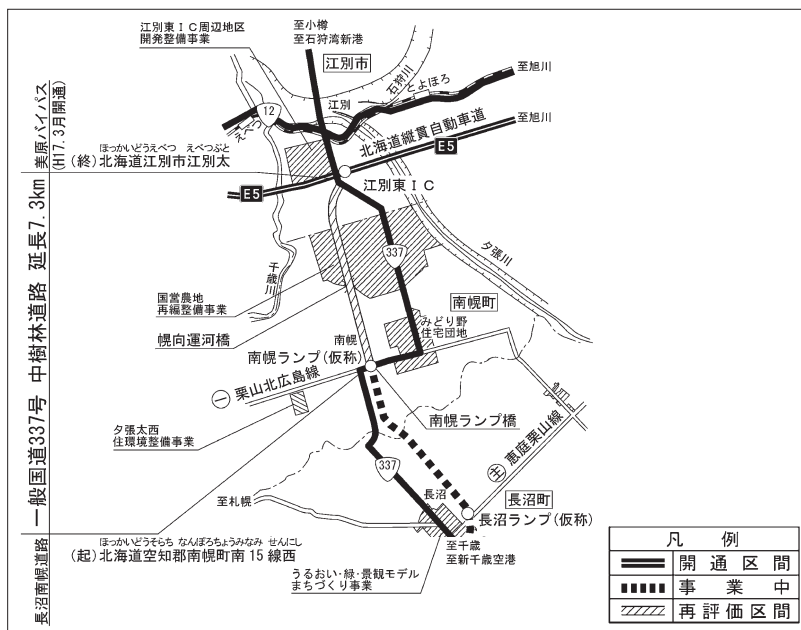
省エネ、環境対策では、館内全てにLED照明の採用・センサーライトの導入・バッテリーリフト化を進める等、ゼロエミッション(CO₂排出ゼロ)へ向けた取り組みを加速させています。

※TLP...トウワンロジスティクスプロバイダーの略名で、今後同社が展開していく複合型物流センターの統一名称

令和6年度 「国道337号中樹林道路」 開通!!



▲道央圏連絡道路位置図



▲道央圏連絡道路事業概要図

道央圏連絡道路(一般国道337号)は、千歳市を起点として長沼町、南幌町、江別市、当別町、札幌市、石狩市を經由し小樽市に至る延長約80キロの高規格道路です。国際的な交流拠点である新千歳空港、国際拠点港湾苫小牧港、重要港湾石狩湾新港、及び小樽港を結び、札幌圏における人流・物流の連携を図る重要な役割を果たすものです。すでに現在までに新千歳空港から国道274号までと、札幌自動車道銭函ICから道央自動車道江別東ICまでの区間が開通していますが、江別東ICから南幌町までの延長7.3キロの区間(中樹林道路)が令和6年度に開通を予定しています。中樹林道路は、北海道縦貫自動車道江別東ICと接続し、高速ネットワークの拡充による札幌圏の連絡機能の強化、地域間交流の活性化を図るとともに、重要港湾石狩湾新港と拠点空港新千歳空港、国際拠点港湾苫小牧港等への物流効率化等の支援を目的としています。中樹林道路の開通後は引き続き残る区間である長沼南幌道路(延長14.6キロ)の整備を行い、早い時期での道央圏連絡道路(一般国道337号)の全線開通が望めます。



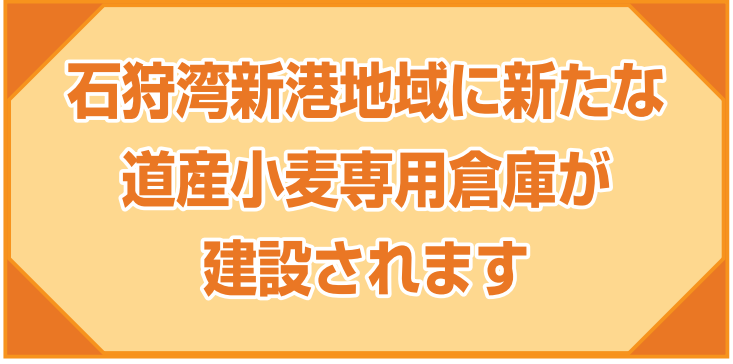
▲建設される道産小麦専用倉庫

今回の同業3社による共同事業は全国初であり、北海道産小麦コンソーシアムの取り組みは、今後の道産小麦の更なる価値向上への第一歩となることが期待されます。

今年度の同業3社による共同事業は全国初であり、北海道産小麦コンソーシアムの取り組みは、今後の道産小麦の更なる価値向上への第一歩となることが期待されます。

江別製粉(株) (本社：江別市 代表取締役社長 安孫子 俊之)、横山製粉(株) (本社：札幌市 代表取締役社長 横山 敏章)、木田製粉(株) (本社：札幌市 代表取締役社長 永瀬 雄二)の3社は北

石狩湾新港地域に新たな道産小麦専用倉庫が建設されます



北海道、ホクレン、JA北海道中央会と連携し、「北海道産小麦コンソーシアム」を立ち上げ、令和4年度からの使用開始を目標に石狩湾新港地域内の石狩市新港西2丁目に新たな北海道産小麦専用の倉庫建設を進めています。

近年、道産小麦の評価が高まり需要は増加を続けておりますが、天候等の影響による生産量の変動が激しく、需給バランスの崩れが発生した場合、需要者が思うように使用量の拡大を図れない状況にあります。本倉庫はこの問題を解決するために道内で生産される一定数量の小麦を倉庫で集中保管し、安定供給を図るため建設されます。

◆ 企業紹介 ◆

R&Iカンパニーリミテッド(株) TEL 011-206-4560

R&Iカンパニーリミテッド(株) (本社：札幌市中央区 代表取締役 斎藤 浩三) は銭函4丁目に自社オリジナルのコンテナモジュールやトレーラーハウスを製造保管する工場兼倉庫「BIBOX ファクトリー銭函」を昨年12月に竣工させました。同社は、収益不動産の運用・企画開発・販売等を主業とする総合不動産事業者で、今回建設した「BIBOX ファクトリー銭函」は同社の重点事業であるコンテナトレーラー事業用の工場兼倉庫となります。同社の「BIBOX」は固定設置型のコンテナモジュールタイプと、



▲BIBOX カスタム施工イメージ

車両としていつでも移動可能なトレーラーハウスタイプがあり、様々なカスタムが出来、住居や店舗、事務所等、用途は幅広く多岐に渡り使用することが可能で、同社では道内のみならず、全国への展開を進めています。

(株)札幌ヤマグチ 北海道工場 TEL 0133-73-5556

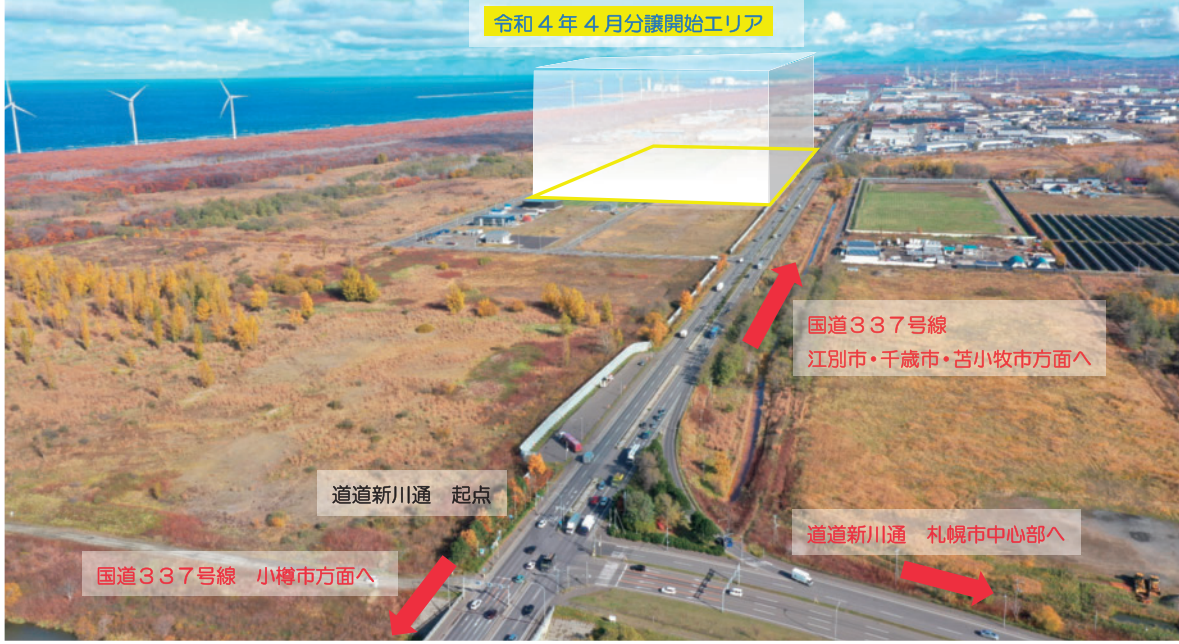
(株)札幌ヤマグチ (本社：札幌市西区 代表取締役 山口 良美) は銭函5丁目に新たに北海道工場を竣工させました。業歴36年を誇る、甲殻類を中心とした専門商社で主に、カニ・エビ・ホタテ・ウニ・魚卵等を取り扱っています。

同社は札幌中央卸売市場や商社等より仕入れた新鮮な海の幸を加工・販売しており、販売先は市場や空港お土産店をはじめ、WEBサイト等への卸売も行っています。



▲(株)札幌ヤマグチ 北海道工場

今回新設した北海道工場(敷地面積：約4,000㎡、延床面積約1,200㎡)では近年の業容拡大によりカニを中心とした加工を行っており、最新の3Dフリーザーの導入、非接触型のセンサーを採用する等、品質面・衛生面に配慮した施設となっております。



▲令和3年11月、新川通起点から撮影

銭函4丁目新規造成区画 令和4年4月分譲開始!!

石狩湾新港地域の土地の年度より販売を開始し、好開発・造成・分譲を行う、石狩開発(株) (代表取締役社長 豊岡 孝章) は、令和4年4月より石狩湾新港地域内に新たな分譲用地の販売を開始します。

分譲価格は平米あたり1万2000円(坪あたり3万9670円)で、分譲面積は2千㎡〜約5万㎡と多様なニーズに対応できる区画となっております。

＜分譲概要＞
所在地：小樽市銭函4丁目内
区画面積：2,000㎡〜約50,000㎡ (面積はご相談下さい)
用途地域：準工業地域、建蔽率60%、容積率200%
分譲価格：12,000円/㎡ (39,670円/坪)

お問い合わせ先
石狩開発(株) 営業推進部
TEL 011-333-7212300